

## 富山の観光グルメ紹介



廣澤 勲

コロナ禍も3年目になり、コロナとの共存が叫ばれる中、BA.5による第7波に対する対応で社会が揺れています。当地、富山も少しずつ観光客も戻り初め、観光飲食業界にも明るい兆しが見えそうなところで第7波に突入し、関係業界も困惑しています。

そのような状況ですが、感染状況が落ち着いたときのために、富山の観光グルメ情報を、誌上VR形式でご紹介したいと思います。

まず、富山の玄関口JR富山駅に到着したところから始めたいと思います。富山駅から徒歩で行ける距離に、富山環水公園があります。



富山環水公園（とやま観光ナビホームページより）

この環水公園には、2008年に世界一美しいスターバックスコーヒー店に選ばれた店があります。現在も、いつも混んでいますが、時間があればお寄り下さい。写真の船は、環水公園の観光船でfugan（商標登録第5766602号）といいます。公園内と運河の中島閘門までの水上観光に利用されています。閘門とは、パナマ運河にもある、水位を調節するための水門です。

環水公園の後は、JR から分離した「あいのかぜとやま鉄道」(商標登録第 5706512 号他)の観光列車、一万三千尺物語(商標登録第 6130927 号他)に乗って、県内観光に出かけましょう。車内では、予約して富山湾の美味しい魚介類を用いた富山湾鮭(商標登録第 5936606 号)を賞味できます。尚、「富山湾鮭」は県内の加盟店で提供され、一定の品質で富山の食材による富山ならではの鮭を指しますので、鮭屋で注文してみてください。



(富山県ホームページより)

あいのかぜとやま鉄道で東側に行くと、滑川では、ホタルイカを堪能できます。春の漁期には、神秘的に光るホタルイカを見て味わうこともできます。

さらに東に行くと、魚津では運が良ければ、蟹気楼を見ることができます。富山湾の対岸の火力発電者の煙突や船が長く縦に伸びて見えます。



魚津からの蟹気楼 (とやま観光ナビホームページより)

さらに東に行くと黒部ですがここから直接黒部ダムには行けませんので、宇奈月温泉で1泊するのも良いです。宇奈月では、黒部峡谷のトロッコ電車がお勧めで、特に秋の紅葉シーズンは人気です。宇奈月温泉は、日本の大審院が初めて明確に判断した「権利濫用」判決でも有名ですね。



黒部峡谷（とやま観光ナビホームページより）

富山の観光で最も有名なのは、立山黒部アルペンルートです。コロナ前は、外国人観光客が半数以上でした。特に、5月の雪の大谷は20m近い雪の壁に圧倒されます。



雪の大谷（とやま観光ナビホームページより）

黒部ダムには、黒部市から直接行けないので、富山県側からは、一旦富山市に戻って、立山ケーブルとバスを乗り継いで、標高2500mほどの室堂まで行って、さらにロープウェイとケーブルを乗り継いで行きます。なお、もうすぐ、直接行けるようになる予定で、その観光ルートの商標も検討中です。





黒部ダム（とやま観光ナビホームページより）

黒部ダムは何度行っても雄大で、心が洗われます。

富山県の西側にも、富山駅からあいのかぜとやま鉄道で行きます。富山市の隣の新湊市では、帆船海王丸に乗船することもできる海王丸パークがお勧めです。



帆船海王丸（とやま観光ナビホームページより）

あいの風富山鉄道で、さらに西に向かうと、銅器で有名な高岡があり、観光名所としては、国宝瑞龍寺や、日本3大大仏と言われる高岡大仏があります。



瑞龍寺（とやま観光ナビホームページより）

高岡から JR 城端線に乗り、南に向かうと、世界遺産の五箇山相倉合掌集落があります。世界遺産の合掌集落は、隣に岐阜県白川郷もありますが、相倉のほうが観光地化してなくて、本来の合掌集落を味わうことができます。

ここまで主に観光地のご紹介をしてきましたが、富山のグルメといえば、やはり天然のいけすと言われる富山湾で獲れた魚介類です。ちなみに、富山湾は 2014 年に「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟しました。



雨晴海岸（高岡市）（とやま観光ナビホームページより）





海鮮丼（とやま観光ナビホームページより）



「高志の紅ガニ」（とやま観光ナビホームページより）

カニは、富山ではベニズワイガニが上品な甘さでお勧めです。特に最高級品質のベニズワイガニを「高志の紅ガニ」（商標登録第 5954786 号）として差別化を図っています。その他、富山湾の宝石「白エビ」や「寒ブリ」、富山湾の神秘「ホタルイカ」等も是非味わっていただきたいものです。寒ブリは刺身もおいしいのですが、私はブリしゃぶがお勧めです。



ブリしゃぶ（とやま観光ナビホームページより）

お米は、富山県が誇るブランド米「富富富」（商標登録第 6130868 号）がお勧めですが、お米は育つ土壌により味が変わりますので、とやまの米はどの品種も美味しいです。

富山のお酒は、全国的にはいまいち有名でないですが、隠れた美酒が多く、弁理士会の会合で私がお勧めしていたのは、銀盤酒造の「米の芯」（商標登録第 5894222 号）です。また、最近富美菊酒造の「羽根屋」（商標登録第 5399063 号）もお勧めです。「羽根屋」は外国の品評会でいくつも賞を取っており、芳醇な味わいです。さらに、最近注目されているのが「IWA5」です。有名なドンペリニヨンの 5 代目醸造最高責任者リシャール・ジョフロワが富山の枡田酒造店とともに創立した酒蔵「白岩」の日本酒です。しかも、酒蔵の建物を設計したのは隈研吾です。可能になれば、見学もお勧めです。



（白岩の醸造所 [jp.sake-times.com](http://jp.sake-times.com) より）

以上、富山の観光とグルメをお楽しみ頂けましたでしょうか。コロナ禍が治まりましたら、ぜひお越し下さい。